県民満足度調査　調査票

（令和８年６月）

御記入にあたってのお願い

回答方法は　〝郵送〞または　〝インターネット〞のいずれかをお選びいただけます。

【郵送で回答する場合】

・　お答えは、１つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。１つだけ、もしくは、当てはまるものすべて回答していただくものは、当てはまる選択肢の番号を囲むように○印をつけてください。　例）（1）
また、順位を付けて回答していただくものは、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

・　お答えが「その他」に当てはまる場合は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

・　御記入いただきました調査票は、３つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、ポストに投函してください。（お名前や御住所の記入は不要です）

【インターネットで回答する場合】

回答用ＩＤ：＿＿＿＿＿　**パスワード：**＿＿＿＿＿＿

・　別紙「インターネットでの回答方法」を御覧ください。

アンケート専用ホームページ
二次元バーコード

【回答期限（郵送・インターネット共通）】

令和８年７月 21 日（火）

○お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について】

・埼玉県企画財政部計画調整課　評価担当（谷川、西山）

・電　話：０４８－８３０－２４１３（平日 9：00～17：00）

【調査票の記入方法・締め切りなどについて】

・株式会社タイム・エージェント　担当（田邊）

・電　話：０３－５４５９－３７９６（平日 10：00～17：30）

県政に対する満足度と重要度についてお伺いします。

※　参考資料「県政紹介パンフレット」を同封しておりますので、必要に応じて御覧ください。

県政への満足度について

あなたは、以下の表にあげた１～12 の各項目について、どの程度満足していますか。
１～２ページの各項目それぞれについて、あなたの実感に近いものを選んでお答えください。

	調査項目	あなたの満足度（項目ごとに１つずつ選び番号に○をつけてください）				
		満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
1	**災害・危機に強い埼玉の構築** 《主な取組》 パンフレット p1 ・危機管理・防災体制の再構築 ・大地震等に備えたまちづくり ・治水・治山対策の推進 ・感染症対策の強化	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
2	**県民の暮らしの安心確保** 《主な取組》 パンフレット p2 ・防犯対策の推進と捜査活動の強化 ・交通安全対策の推進 ・生活の安心支援	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
3	**介護・医療体制の充実** 《主な取組》 パンフレット p3 ・介護人材の確保・定着対策の推進 ・地域医療体制の充実 ・医師・看護師確保対策の推進	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
4	**子育てに希望が持てる社会の実現** 《主な取組》 パンフレット p4 ・きめ細かな少子化対策の推進 ・子育て支援の充実 ・児童虐待防止・社会的養育の充実	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
5	**未来を創る子供たちの育成** 《主な取組》 パンフレット p5 ・確かな学力と自立する力の育成 ・質の高い学校教育の推進 ・私学教育の振興	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				

	調査項目	あなたの満足度 （項目ごとに１つずつ選び番号に〇をつけてください）				
		満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
6	**人生 100 年を見据えたシニア活躍の推進** 《主な取組》 パンフレット p6 ・生涯を通じた健康の確保 ・高齢者の活躍支援	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
7	**誰もが活躍し共に生きる社会の実現** 《主な取組》 パンフレット p7 ・就業支援と雇用環境の改善 ・女性の活躍推進と男女共同参画の推進 ・障害者の自立・生活支援	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
8	**支え合い魅力あふれる地域社会の構築** 《主な取組》 パンフレット p8 ・地域の魅力創造発信と観光振興 ・スポーツの振興 ・デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
9	**未来を見据えた社会基盤の創造** 《主な取組》 パンフレット p9 ・住み続けられるまちづくり ・公共交通網の充実 ・道路ネットワークの構築	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
10	**豊かな自然と共生する社会の実現** 《主な取組》 パンフレット p10 ・恵み豊かな川との共生/生物多様性の保全 ・資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進 ・地球環境に優しい社会づくり	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
11	**稼げる力の向上** 《主な取組》 パンフレット p11 ・新たな産業の育成と企業誘致の推進 ・変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援 ・産業人材の確保・育成	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				
12	**儲かる農林業の推進** 《主な取組》 パンフレット p12 ・農業の担い手育成と生産基盤の強化 ・強みを生かした収益力ある農業の確立 ・林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	1	2	3	4	5
		［自由記述］「あまり満足していない」「満足していない」と回答された場合、その理由を記入してください。				

質問 13　１～２ページにあげた１～12 の項目の総合評価として、県の政策全般について、どの程度満足していますか。あなたの実感に近いものを１つ選び、番号に〇をつけてください。

満足している	ある程度 満足している	あまり 満足していない	満足していない	わからない
１	２	３	４	５

県政の重要度について

質問 14　次の 12 の項目のうち、あなたの現在の暮らしにとって、特に重要だと思うものを３つ選び、回答欄に番号を記入してください。

１　災害・危機に強い埼玉の構築
２　県民の暮らしの安心確保
３　介護・医療体制の充実
４　子育てに希望が持てる社会の実現
５　未来を創る子供たちの育成
６　人生 100 年を見据えたシニア活躍の推進
７　誰もが活躍し共に生きる社会の実現
８　支え合い魅力あふれる地域社会の構築
９　未来を見据えた社会基盤の創造
10　豊かな自然と共生する社会の実現
11　稼げる力の向上
12　儲かる農林業の推進

		番号
回答欄	**最も**重要だと思うもの	
	２番目に重要だと思うもの	
	３番目に重要だと思うもの	

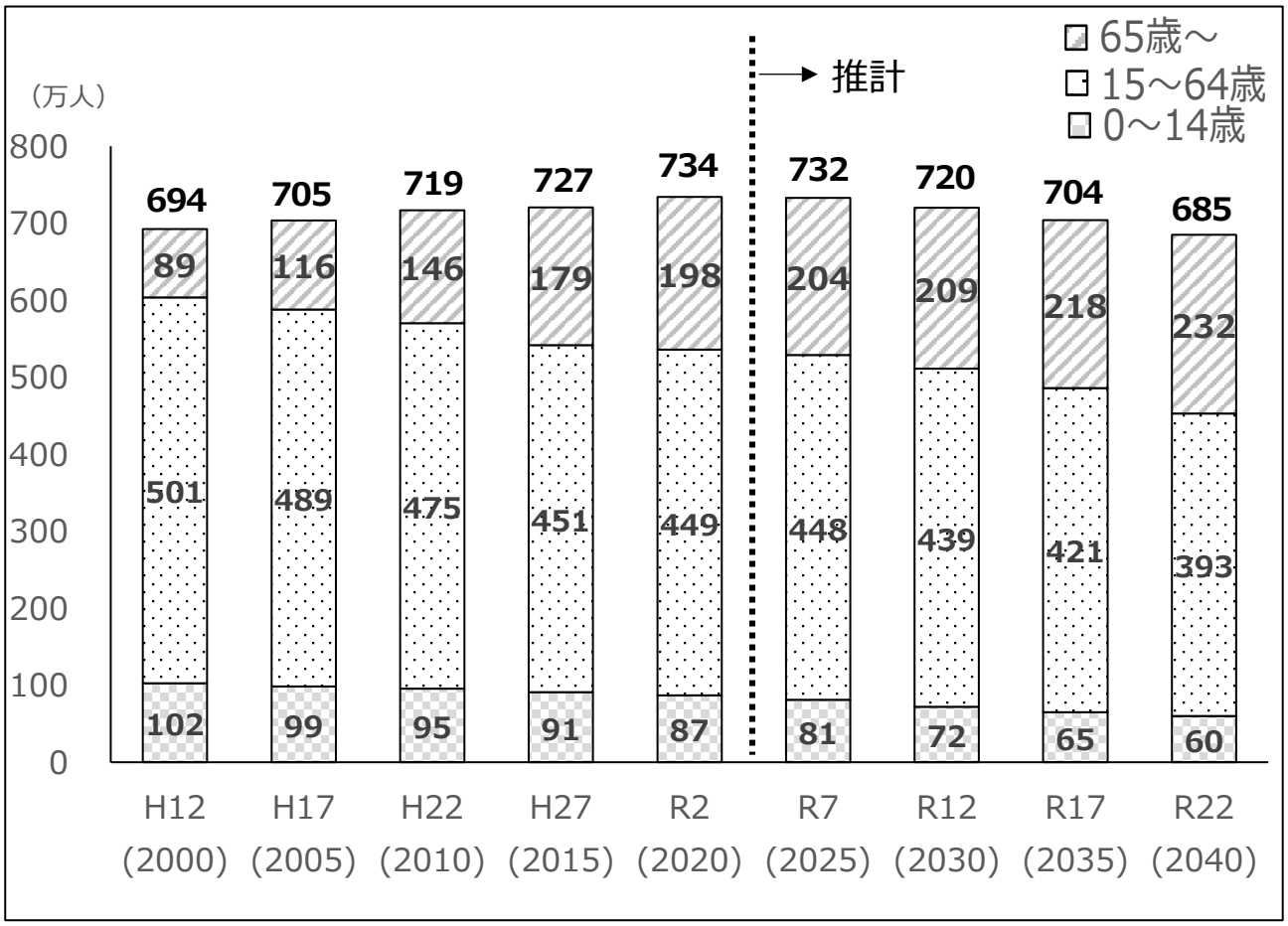
人口減少・超少子高齢社会の到来について

埼玉県の人口は、国勢調査を開始した１９２０年（大正９年）以降一貫して増加を続け、２０２０年（令和２年）には約７３４万人となりましたが、総務省の人口推計によると、２０２１年（令和３年）１０月１日現在の人口で初めて前年より減少しました。さらに、令和７年国勢調査速報値による人口は約７２９万人に減少しており、人口減少局面に転じたことが明らかとなっています。

年齢３区分別人口をみると、年少人口（０～１４歳）は１９８０年（昭和５５年）をピークに減少が続いています。また、社会経済を支える労働力として重要な生産年齢人口（１５～６４歳）は、２０００年（平成１２年）をピークに減少が続いています。高齢者人口（６５歳以上）は２０２０年（令和２年）には１９３万人で、高齢化率が２７．１%となりました。

埼玉県の人口は、今後も持続的に減少すると見込まれています。年齢区分別にみると、年少人口（０～１４歳）と生産年齢人口（１５～６４歳）が減少する一方、６５歳以上の高齢者は増加し、異次元の高齢化が進行することが見込まれ、超少子高齢社会が到来しています。

埼玉県の人口の推移（年齢３区分別）



平成27年までは「国勢調査」（総務省）
令和２年は「国勢調査」（総務省）の不詳補完結果のため、本文と数値が一致しない場合がある。
令和７年以降は埼玉県推計
なお、端数処理の関係で年齢３区分別の合計と人口総数が一致しない場合もある。

そこで、次のことをお聞きします。

質問 15　埼玉県の人口が減少していくことが見込まれ、超少子高齢社会が到来していることに危機感を感じていますか。次の中から、あなたの実感に近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

非常に危機感を感じている	危機感を感じている	あまり危機感を感じていない	全く危機感を感じていない	わからない
1	2	3	4	5

質問 16　人口減少・超少子高齢社会が到来している中、想定される社会の変化として、特に課題だと思うものはどれですか。次の中から、あなたが最も課題だと思うものを１つ選び、番号に○をつけてください。

1　十分な医療・介護サービスを受けられなくなる
2　子育てや教育の環境が悪化する
3　地域の人とのつながりや助け合いが少なくなる
4　地域経済を支える産業が衰退する
5　公共インフラ（公共施設・交通・上下水道など）の維持が難しくなる
6　空地・空き家の増加など、住環境が悪化する

質問 17　人口減少・超少子高齢社会が到来している中で、今後どのような施策を強化すべきだと考えますか。次の中から、あなたが特に強化すべきだと思う施策を３つ選び、回答欄に番号を記入してください。

1　介護・医療体制を充実する

2　結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる社会をつくる

3　質の高い学校教育を推進する

4　地域コミュニティや支え合い活動を活性化する

5　企業誘致や産業振興を進める

6　女性や高齢者など多様な人材が活躍できる環境を整える

7　デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ＊）を推進する

8　公共インフラの適切な維持管理や更新を進める

9　鉄道・バスなどの公共交通ネットワークを維持・確保する

10　都市機能の集積など住み続けられるまちづくりを進める

＊ ＤＸ
デジタル（Digital）と変革を意味するトランスフォーメーション（Transformation）により作られた造語。様々なモノやサービスがデジタル化により便利になったり効率化され、その結果デジタル技術が社会に浸透することで、それまでには実現できなかった新たなサービスや価値が生まれる社会やサービスの変革を意味する。

		番号
回答欄	**最も**強化すべき施策	
	２番目に強化すべき施策	
	３番目に強化すべき施策	

埼玉県の強みについて

「人口減少・超少子高齢社会の到来」のように解決しなければならない課題がある一方、埼玉県には多くの強みがあります。これらを最大限に生かし、埼玉県の活力を高め、持続的な成長・発展につなげていくことが重要です。

そこで、次のことをお聞きします。

質問 18　あなたが埼玉県の強みと感じるものは何だと思いますか。次の中から、あなたが特に埼玉県の強みだと思うものを３つ選び、回答欄に番号を記入してください。

1　道路や鉄道の便が良い
2　多種多様な産業が集積している
3　住環境が整っている
4　豊かな自然に恵まれている
5　災害が少ない
6　子育て・教育環境が整っている
7　スポーツや文化芸術の楽しみが多い
8　観光資源が充実している
9　多彩な農産物や食品がつくられている
10　その他（具体的に記入　　）

		番号
回答欄	**最も**強みだと思うもの	
	２番目に強みだと思うもの	
	３番目に強みだと思うもの	

質問 19　埼玉県の魅力を高めるために、今後どのような取組を強化すべきだと思いますか。次の中から、あなたが強化すべきだと思う取組を３つ選び、回答欄に番号を記入してください。

1　道路、鉄道など交通ネットワークを充実させる
2　暮らしやすいまちづくりを進める
3　企業誘致や産業振興を進め、雇用を創出する
4　環境保全に取り組み、豊かな自然環境を維持する
5　インフラの強靭化や防災訓練などに取り組み、災害への備えを強化する
6　子育て支援体制を強化する
7　質の高い学校教育を推進する
8　スポーツや文化芸術に親しめる機会を増やす
9　歴史・文化・自然などの観光資源をＰＲし、誘客を促進する
10　農産物や県産品のブランド力を向上させる
11　デジタルを活用し、県民サービスの利便性を向上する
12　県民の防犯意識を高め、警察活動の基盤や体制を強化する
13　福祉・医療サービスを充実する
14　多文化共生と国際交流を推進する
15　その他（具体的に記入　　）

		番号
回答欄	**最も**強化すべき取組	
	２番目に強化すべき取組	
	３番目に強化すべき取組	

おたずねした内容を統計的に分析するため、あなた御自身についてお伺いします。

（1）【性別】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。

1．男性	2．女性	3．回答しない

（2）【年齢】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

1．18～19 歳	2．20～24 歳	3．25～29 歳
4．30～34 歳	5．35～39 歳	6．40～44 歳
7．45～49 歳	8．50～54 歳	9．55～59 歳
10．60～64 歳	11．65～69 歳	12．70～74 歳
13．75～79 歳	14．80 歳以上	

（3）【職業】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

1．自営業主	2．家族従業	3．勤め（全日）
4．勤め（パート）	5．無職の主婦・主夫	6．学生
7．その他の無職（年金、仕送りなどで生活）		

① （3）で「1．自営業主」または「2．家族従業」とお答えの方にお伺いします。

【仕事内容】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

1．農林漁業	2．商工・サービス業
3．自由業（開業医、弁護士等）	4．その他

② （3）で「3．勤め（全日）」または「4．勤め（パート）」とお答えの方にお伺いします。

【働き方】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

1．正社員・正職員
2．非正規社員・職員（派遣、契約、嘱託、パート等）

（4）【住まい】あなたのお住まいの地域はどこですか。（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．南部地域（川口市、蕨市、戸田市）
２．南西部地域（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）
３．東部地域（春日部市、草加市、 越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）
４．さいたま地域（さいたま市）
５．県央地域（鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町）
６．川越比企地域（川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）
７．西部地域（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）
８．利根地域（行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）
９．北部地域（熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町）
10．秩父地域（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町）

（5）【県内居住年数】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．１年未満　　２．１年～３年未満　　３．３年～５年未満
４．５年～10 年未満　　５．10 年～15 年未満　　６．15 年～20 年未満
７．20 年以上

（6）【出生地】あなたは埼玉県のお生まれですか。
（当てはまる番号１つに○をつけてください。「２．いいえ」を選択された方はお生まれの都道府県名または国名を記入してください。）

１．はい（埼玉県）
２．いいえ（都道府県名または国名：　　）

（7）【家族人数】いま一緒に暮らしている御家族はあなたを含め何人ですか。（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．１人　　２．２人　　３．３人　　４．４人　　５．５人　　６．６人
７．７人以上

（8）【結婚（事実婚も含めます）】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．結婚している　２．結婚していたが、離別・死別した　３．結婚していない

① 【子供の人数】お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。
（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．１人　２．２人　３．３人　４．４人　５．５人以上　６．いない

② （8）①で「1」～「5」とお答えの方にお伺いします。
【子供の段階】お子さん全員について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．０～３歳	２．４～６歳	３．小学生	４．中学生
５．高校生	６．短大生・専門学校生	７．大学生・大学院生	
８．学校教育終了（結婚していない）	９．学校教育終了（結婚している）		
10．その他			

（9）【家族形態】（当てはまる番号１つに○をつけてください。）

１．単身	２．本人と配偶者（パートナー）
３．二世代世帯（親と子）	４．三世代世帯（親と子と孫）
５．その他	

(10) 【関連分野】次にあげた日常生活やお仕事、勉学などの分野の中に、あなたに関わりのある（あった）分野はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子育て	２．児童福祉	３．健康	４．介護	５．医療
６．建設	７．教育	８．工業	９．商業・サービス	
10．観光	11．農業	12．林業	13．漁業	
14．運輸・交通	15．まちづくり	16．エネルギー		
17．情報通信	18．廃棄物・リサイクル	19．環境		
20．文化・芸術	21．スポーツ			

アンケートへの御協力、ありがとうございました。